

2012年度社会学科／文学部社会学専攻学事報告

【学部・大学院担当教員】

2011年度（平成23年度）柴田弘捷教授のご退職にともなう後任として勝俣達也准教授が入職された。また秋吉美都准教授が教授に、後藤吉彦専任講師が准教授に昇格された。したがって人間科学部社会学科は、秋吉美都、宇都榮子、大矢根淳、勝俣達也、金井雅之、川上周三、後藤吉彦、今野裕昭、嶋根克己、永野由紀子、馬場純子、樋口博美、広田康生、藤原法子（教授11名、准教授3名）の専任教員体制で教育が行われた。

大学院は、秋吉美都、宇都榮子、大矢根淳、勝俣達也、金井雅之、川上周三、今野裕昭、嶋根克己、永野由紀子、馬場純子、樋口博美、藤原法子、広田康生と鐘ヶ江晴彦文学部教授の計14名の専任教員体制で教育が行われた。

2012年度の兼任講師の先生方は、青木武信（国際協力論）、石川良子（社会調査実習A）、江頭説子（社会学101、102＝神田、社会学201、202、社会調査実習A）、織田和家（社会学特講D）、今野晃（社会学101、102、社会学201、202、文献研究A、B）、佐久間孝正（多文化共生国際社会学論）、清水強志（資料とデータの分析法、質的分析法）、神野賢二（社会学201、202、基礎ゼミナール、社会学特殊講義F）、田嶋淳子（エリアスタディーズB1、2）、中尾暢見（社会学201、202＝神田、社会学＝神田二部）、名和田是彦（地方自治論）、平野悠一郎（地球環境問題）、堀内史郎（社会統計法・実習）、三田知実（資料とデータの分析法、質的分析法、社会調査実習A）、宮本直和（民俗学1・2）、渡邊大輔（社会統計法・実習、社会調査実習A）の諸先生に御出稿いただいた。

また社会学研究教員室の事務補助員として勤務されてきた平松麻衣子氏が2011年度をもって退職されたため、後任として入江玲子氏が入職され、後藤暁子氏とともに勤務された。

【専攻学生・院生（2012年5月1日現在）】

2012年度人間科学部社会学科（1、2、3年次生）／文学部人文学科社会学専攻（4年次生及び5年次生以上）は、1年次生138名、2年次生133名、3年次生166名、4次生87名、5年次生以上19名。

大学院文学研究科社会学専攻の院生は、修士課程1年次生3名、2年次生4名、3年次生1名、博士後期課程は1年次生2名、2年次生1名、3年次生1名、4年次生1名、5年次生1名の合計14名。

<2012年>

- 4.5 入学式（日本武道館）
- 4.6 大学院ガイダンス
- 4.2-4.10 学部ガイダンス期間
- 4.11-8.4 前期授業期間

- 4.11 社会学科1年次生基礎ゼミナール合同授業
- 5.18 Bonnie H. Erickson 教授（トロント大学）講演会“SOCIAL CAPITAL FOR ETHNIC MINORITIES”
- 5.19-5.20 FMS（第1班実施：街歩き・伊勢原セミナーハウス宿泊）
- 5.26-5.27 FMS（第2班実施：街歩き・伊勢原セミナーハウス宿泊）
- 6.20- 専修社会学会第1回研究会
報告者：嶋根克己教授
題目：「ベトナムにおける葬儀；変貌する社会のなかで」
- 7.18 大学院博士論文中間報告会
<社会調査実習学外授業>
- 8.4-8.6 広田康生教授担当社会調査実習
東京都新宿区新大久保、百人町
- 8.6-8.8 渡邊大輔兼任講師担当社会調査実習
専修大学
- 8.29-9.1 馬場純子教授担当社会調査実習
長野県上田市
- 9.5-9.8 馬場純子教授担当社会調査実習
長野県上田市
- 9.5-9.8 江頭説子兼任講師担当社会調査実習
岡山県倉敷市水島みずしま財団
- 9.5-9.7 川上周三教授担当社会調査実習
賀川豊彦記念松沢資料館・日本基督教団松沢教会
- 9.13-9.15 勝俣達也准教授担当社会調査実習
新潟県五泉市
- 9.13-9.16 三田知実兼任講師社会調査実習
東京都渋谷区神宮前
- 9.14-9.16 今野裕昭教授担当社会調査実習
栃木県芳賀郡益子町
- 9.19-9.20 秋吉美都教授担当社会調査実習
専修大学
- <社会調査士実習学外授業>
- 8.5-8.6 永野由紀子教授担当社会調査士実習
宮城県塩竈市浦戸諸島
- 8.5-8.7 大矢根淳教授担当社会調査士実習
兵庫県神戸市長田区御蔵
- 8.7-8.9 藤原法子准教授担当社会調査士実習
東京都町田市
- 8.9-8.11 嶋根克己教授担当社会調査士実習
宮城県仙台市、石巻市、気仙沼市
- 9.3-9.6 樋口博美教授担当社会調査士実習

石川県金沢市、能美市、加賀市

<生涯学習調査実習1、2学外授業>

8.28-8.30 鐘ヶ江晴彦教授生涯学習調査実習
千葉県館山市

9.21-1.16 後期授業期間

10.10 専門ゼミナールガイダンス

10.11-11.9 研究室訪問期間

10.15 修士論文題目届

10.17 専修社会学会第2回研究会
報告者：勝俣達也准教授
題目：「大都市における中小製造業者の経営活動と精神構造」

10.30 大学記念日

11.1-11.4 鳳祭

11.12 専門ゼミナール入ゼミレポート提出締切

11.14 大学院修士・博士論文中間報告会

11.27 専門ゼミナール第一次ゼミ所属決定

12.8 外国人留学生入学試験

12.11 専門ゼミナール第二次ゼミ所属決定

12.17 卒業論文提出締切日

1.9 文献研究 A / 社会調査実習 A 履修ガイダンス

1.11 大学院修士論文提出

1.17-1.30 卒論口述試験期間（定期試験期間）

1.19-1.20 大学入試センター試験

1.30 専修社会学会大会・総会
<総会>13:30~14:00
開会の辞・司会：永野由紀子
1. 会長挨拶：今野裕昭
2. 事業報告：編集報告：藤原法子、研究会報告：永野由紀子、会計報告：後藤吉彦、会

計監査報告：嶋根克己、規約改正：今野裕昭
<大会（代表論文報告）>14:00~15:30

司会：博士後期課程2年 小森田龍生

第1報告：鈴木敦史（金井ゼミ）「テキストマイニングによるスマートフォンのマーケティング分析-売り手の販売戦略と買い手の意識のずれ」
（講評：修士課程1年 小沢明彦）第2報告：小嶋美緒（永野ゼミ）「現代日本の子供をめぐる問題現象の捉え方-母性愛神話の批判-」
（講評：修士課程2年 李珠華）第3報告：林朋実（嶋根ゼミ）「戦略的行為としての「粧い」の有用性~いつか男も<女>になる~」
（講評：修士課程1年 加嶋結喜）

閉会の辞

2.1 全国入試・スカラシップ入試

2.4 大学院修士論文口述試験

2.9-2.13 一般前期入学試験

2.21 社会学科兼任教員懇談・懇親会

2.23 大学院修士Ⅱ期・博士入学試験

2.28 一般後期入学試験

3.5 編入学・学士入学試験

3.10 『専修社会学』第25号刊行

3.15 『人間科学論集社会学篇』刊行

3.22 学部卒業式（日本武道館）、大学院学位授与式

[記：嶋根克己]